

令和7年度事業報告

第6 地域福祉センター

盛岡地域福祉センター

1 概 要

障害のある人もない人も、高齢者も若い人もこどもも、年齢や性別にかかわらず、お互いの個性や尊厳を認め合い、支え合いながら共に生活するソーシャルインクルージョンという考え方に基づき、支援を必要とする人やその家族が、住み慣れた地域で自立した生活が続けることができるように、地域住民が自発的に援助を行う相互に結び付いた地域共生社会を目指す。

- (1) デイサービスの利用者を定員まで受け入れ施設の役割や機能を地域に十分に発揮することにより、ソーシャルインクルージョンを推進し、地域共生社会の実現を目指した。
- (2) 地域福祉センター設置運営要綱に基づく地域における福祉活動の拠点として、地域住民の福祉ニーズに応じた、各種相談、入浴・給食サービス、社会適応訓練、機能回復訓練、創作的活動、ボランティアの養成及び活動の場の提供、各種福祉情報の提供等を総合的に行之、地域住民の福祉の増進及び福祉意識の高揚を図った。生活介護事業は新規利用者の受け入れや複数回利用者の受け入れにより、目標数に対し概ね達成した。
- (3) 介護保険法に基づく地域密着型通所介護事業及び介護予防・日常生活支援総合事業を実施し、高齢者ができるだけ長く在宅で自立生活が送れるよう介護支援サービスを提供した。通所介護事業は他施設への移行や健康上の理由から利用終了される方もおり、減少となった。
- (4) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）に基づく生活介護事業や地域生活支援事業として日中一時支援事業を推進した。日中一時支援事業の利用定員を8名から4名に変更し、生活介護利用者が定員を超えた場合の受け皿の機能を併用し、利用者の受け入れに対応した。

2 短期経営計画に係る実績及び評価

取組み項目 1				
現状課題	将来あるべき姿	達成するための方法	実行計画	実績
ない 継続計画の内容や実践が十分に	事業継続計画（BCP）に基づいた実効性のある体制	自然災害BCP及び感染症BCPの内容整備と、計画に基づいた訓練等の実践、検証及び計画の改善	自然災害 BCP の内容見直し及び必要品の備蓄整備	令和7年8月に内容を見直し、必要品の備蓄確認及び整備を行った。 10月に安全確認整備点検を行った。
			新型コロナウイルス感染症 BCP の内容見直し及び関係様式整備	令和8年3月に内容の見直しを行い変更はなかった。

			介護施設・事業所ガイドラインによる自然災害 BCP 見直し	介護施設・事業所における自然災害発生時の業務継続ガイドラインの内容理解に努めた。
			介護施設・事業所ガイドラインによる感染症 BCP 見直し	介護施設・事業所における感染症発生時の業務継続ガイドラインの内容理解に努めた。
			自然災害 BCP に基づき訓練等の実践	令和7年12月16日～19日 地震に伴い上下水道停止時のトイレ使用方法について訓練を実施した。 令和8年3月19日 地震発生に伴い防災頭巾を使用した訓練を実施した。
			感染症 BCP に基づき訓練等の実践	令和7年9月25日 平時からの備えとして速乾式消毒の訓練を実施した。令和7年12月20日、22日 デイルームにて嘔吐発生時の対応について訓練を実施した。

〈実績に対する評価〉

- ・手代森ニュータウン町内会長より自主防衛隊に対する防災協力の依頼があり、連絡先と休日・夜間対応の協力を行うこととした。
- ・公益財団法人介護労働安定センター主催、BCP 運用セミナーに参加し情報収集に努めた。
- ・岩手県社会福祉協議会障がい者福祉協議会主催、BCP に関わる役職研修会行政説明に参加し情報収集及び伝達研修を実施した。
- ・中央ブロック高齢者福祉協議会主催、防災委員会研修会に参加し情報収集を行った。
- ・感染症発生時における業務継続計画の見直しを令和8年度に行うこととした。

取組み項目 2				
現状課題	将来あるべき姿	達成するための方法	実行計画	実績
び収益性の確保。設備投資の見通しの不足	計画環境改善の見据えた事業運営と職場環境の確保、生産性向上及び職	を施設内設備状況を把握し優先順位	事業推進会議による協議の継続、職場環境の改善を行い、効率的な予算執行	毎月第3水曜日に会議を開催し、内容を協議した。
			経営改善計画評価、策定、実施	令和7年9月30日 経営改善計画評価、策定した。

			施設設備要求作成	設備要求を作成し LED 照明リースが予算化された。
--	--	--	----------	----------------------------

〈実績に対する評価〉

- ・事業推進会議において、①中長期経営計画の進捗状況について、②社会の動向の把握及び分析に関すること、③事務事業の進捗管理及び経営改善に関すること、④その他事業継続に関することを協議した。
- ・センター貸館事業について、利用団体へ利用上の注意を文書で周知し理解いただいた。また、微笑と一緒に令和7年度事業計画の概要を配布した。
- ・職員会議内で経営改善計画の取組みの振り返りを行った。
- ・県内及び近県の地域福祉センター5施設の経営状況の調査を開始。経営状況を分析した。
- ・日曜日のセンター利用が平日と比較して著しく少なく、限られた人的・財政的資源を効果的に配分するため、センター事業のあり方について盛岡市と協議を行った。日曜日の休館日について利用団体から理解を得た。盛岡市から休館日の変更について承諾を得た。
- ・産業廃棄物を処分し環境整備に努めた。

取組み項目 3				
現状課題	将来あるべき姿	達成するための方法	実行計画	実績
感染症に対する対応への不安	感染症に対する面からマニュアルの体制等のソフト面、設備	発生の日常時の支援に係る感染管理（平常時の対策）及び	感染対策委員会の定期的な開催	年4回の開催を実施した。感染症に関する利用基準の見直しや支入浴援時のグローブ着用について検討し職員間に周知した。
			感染症予防対策マニュアルの見直し、改定	令和8年3月28日 感染症に関わる感染症予防マニュアル及び食中毒マニュアル、送迎マニュアルの見直し、改正を行った。
			感染対策研修及び訓練の実施	令和8年2月 盛岡赤十字病院感染対策室による標準予防策についてオンライン研修を実施した。 令和8年3月18日 送迎車両での嘔吐処理訓練を実施した。

〈実績に対する評価〉

- ・感染対策委員会の開催時期が3月に1回以上開催することに対し、開催時期が大幅に遅れてしまった。
- ・常勤看護師が委員会に加わったことで、各職種から意見や改善案が出され、検討内容がより深いものとなった。

取組み項目 4				
現状課題	将来あるべき姿	達成するための方法	実行計画	実績
法令遵守に関する職員への理解促進が十分でない、マニュアル等の不足	法令遵守に対する組織としての管理体制の確立	事務分担正副担当者による法令順守の確認	法令遵守に係るチェック体制の構築	法令遵守一覧で担当者がチェックを行った。
			理念及び倫理綱領の定期的な周知とコンプライアンスの徹底	令和7年4月 職員会議において理念及び倫理綱領の周知を行ったほか、毎月の職員会議において所長指示伝達事項（人権尊重と個人の尊厳について、公用車・自家用車の交通安全について、就業規則等）を周知した。
			事務分担正副担当者等による法令遵守の確認と更新	法令遵守一覧で確認及び更新を随時行った。

〈実績に対する評価〉

- ・ 適切な時期に運営規程、重要事項説明書の変更を行った。
- ・ 個人情報及びプライバシー保護マニュアル、施設・地域における障害者虐待防止チェックリスト等を作成し整備した。

取組み項目 5				
現状課題	将来あるべき姿	達成するための方法	実行計画	実績
職場研修計画の策定が十分でない、業務に対する標準化や共通基準、マニュアル類の見直しが十分でない	業務の標準化と職員間の共通理解、それを踏まえたOJTの実施体制づくり	職場研修計画の策定と研修と資格取得OJT、事例検討の仕組みづくり	職場研修計画の評価、策定、研修、受講、伝達	研修計画の策定し、研修受講、伝達研修を積極的に行った。
			サビ管基礎・実践研修、強度行動障害基礎・実践等資格取得	サビ管基礎研修を2名が受講、強度行動障害基礎編を3名、実践編を1名が受講した。
			サービス提供マニュアルの見直し、改正、実践	各種マニュアルの見直し、改正、実践を行った。
			業務内容の共通理解と業務の標準化を図る	令和7年10月1日 利用者個別支援手順書を見直し、共通理解、業務の標準化によりサービスの向上を図った。

			OJT、事例検討の仕組みづくり	新人育成担当者を決め、育成プログラム及び振り返りシートを作成した。記録し回覧した。事例検討の仕組みづくりができなかった。
--	--	--	-----------------	--

〈実績に対する評価〉

- ・ 事務局から通知される職階別研修のほか、岩手県、盛岡市、岩手県社会福祉協議会高齢者福祉協議会、中央ブロック高齢者福祉協議会、岩手県社会福祉協議会障がい者福祉協議会、社会福祉法人、地域包括支援センター、等の各団体の研修等を受講し、スキルアップ、資格取得に努めた。（37 研修）
- ・ 研修受講者による伝達研修（23 研修）を行い、全職員への共有を図った。
- ・ 担当者のメールチェック不足により受講できなかった研修があったため、正副担当でダブルチェックする。

取組み項目 6				
現状課題	将来あるべき姿	達成するための方法	実行計画	実績
自己評価の取組みが十分でない。利用者等へのニーズ把握や改善の取組みが十分でない	サービスの質の向上に向けたニーズ把握、評価、見直しの仕組みづくり	第三者評価自己評価の実施	ケア会議、給食会議によるサービスの向上	毎月ケア会議、給食会議を開催し、支援の質の向上とサービスの向上に努めた。
			満足度調査の内容検討、実施、評価、改善対応	令和8年1月利用者全員を対象に、満足度アンケートを配布または個別に聞き取りを行い実施した。令和8年1月19日から開催した利用者懇談会において調査結果を説明、配布し周知した。
			第三者評価自己評価実施	令和8年10月 A:体制整備チェックリストを実施し、自己評価とした。令和8年3月6日岩手県社会福祉協議会と受審スケジュール打合せを行った。

〈実績に対する評価〉

- ・ 微笑と一緒に苦情解決の取組みについてのお知らせ及び令和6年度苦情受付・解決状況を利用者、関係者、地域住民、各関係施設に配布し周知した。
- ・ 寄せられた意見、要望について、利用者、関係者へ聞き取りなど速やかな改善と対応に努めた。
- ・ 利用者のご家族から寄せられた車いすのシートベルトについて、車いすの正しいシートベルトの着用について確認、職員間に周知し早急に対応した。
- ・ 満足度調査は、1 職員の対応について（5 項目）、2 説明、手続きについて（3 項目）、3 施設について（2 項目）、4 人権について（2 項目）、5 事業の内容について（4 項目）6 総合的な評価について（2 項目）の全 18 項目について、5 段階評価を得て、

満足・おおむね満足が 84.2%（令和 6 年度 78.6%）となった。利用者の意見、要望等を検討し、利用者満足度の向上に努めた。

- ・ 満足度調査と利用者懇談会で出された要望等を検討し、令和 8 年度行事計画に反映させた。

取組み項目 7				
現状課題	将来あるべき姿	達成するための方法	実行計画	実績
地域との交流・連携と、地域のニーズ把握が十分でない	地域ニーズの把握と連携に向けた体制づくり	積極的な居宅介護支援センター等への訪問	広報誌の地域住民、関係機関への配布。広報誌の充実。	微笑を毎月、地域住民及び関係機関に配布した。
			パンフレットの見直し、ホームページの更新	令和 7 年 11 月 パンフレットをリニューアルした。
			居宅介護支援センター、相談支援事業所、特別支援学校等訪問	パンフレット、微笑を持参し、各事業所等を訪問、情報交換、PR 活動等連携を図った。
			小学生、保育園児との交流。小学校行事、地区敬老会、地区公共施設連絡会議等への参加	手代森保育園との交流会を実施した。
			地域密着型通所介護運営推進会議等によるニーズ把握	令和 7 年 9 月 25 日、令和 8 年 3 月 25 日に地域密着型通所介護事業推進会議において、参加者と情報交換を行った。

＜実績に対する評価＞

- ・ 毎月発行する微笑にスカイウェルや大浴場、移動販売等の様子を掲載するなど内容を工夫し、センターの PR に努めた。
- ・ 盛岡市自立支援協議会相談支援分科会相談支援専門員情報交換会に参加し PR 活動、情報交換等連携を図った。
- ・ 微笑と一緒に令和 7 年度事業計画を地域住民及び関係機関に配布した。
- ・ 手代森小学校（入学式、運動会、学習発表会、卒業証書授与式）、乙部地区敬老会に参加し情報交換を行った。（6 月乙部地区公共施設連絡会議 業務のため欠席）
- ・ 地域密着型通所介護事業推進会議において、日曜日の駐車場利用についての情報交換を行った。

取組み項目 8				
現状課題	将来あるべき姿	達成するための方法	実行計画	実績
権利擁護、虐待防止等の提供に関する認識のバラツキ、	権利擁護、虐待防止、プライバシー保護等に関する組織的	プライバシー保護、個人情報保護について情報収集	身体拘束等の適正化のための指針、虐待防止のための指針の見直し	令和6年4月1日施行。見直しを行った。
			虐待防止・身体拘束適正化委員会の定期的開催と内容の周知。研修の実施	委員会を年4回開催。内容は報告書にて全職員に周知した。また、令和7年6月、10月、1月の研修のほか強度行動障害支援者養成研修伝達研修を実施した。
			虐待・身体拘束等発生を想定した訓練	虐待防止フロー及び身体拘束適正化対応フローを共有した。
			プライバシー保護、個人情報保護について情報収集	令和7年8月31日 盛岡地域福祉センター個人情報保護規定、プライバシー保護取り扱いマニュアルを廃止。令和7年9月1日 盛岡地域福祉センター個人情報及びプライバシー保護マニュアルを施行した。

〈実績に対する評価〉

- ・ チェックリストを活用した取り組みを具体化するため、新たに「盛岡地域福祉センター施設・地域における障害者虐待防止チェックリスト実施要領」を策定した。
- ・ A：体制整備チェックリスト46項目、B：虐待防止に関する取り組みの推進・改善シート、C：職員セルフチェックリスト20項目、D：早期発見チェックリスト30項目を実施した。
- ・ 個人情報を持ち出す場合は、書面で所長の許可を得るとともに個人情報保護担当者による返却確認及び保管場所の安全性に基づく施錠に努めた。

3 職員の状況（令和7年度）

職名	主幹 所長	主幹 兼 主任生活支援員	副所長 兼 主任生活支援員	主査 兼 主任生活支援員	サービス管理責任者 主任生活支援員	生活相談員	生活支援員	介護員	理学療法士	看護師	介護員（臨）	生活支援員（臨）	看護師兼機能訓練指導員（臨）	看護師（派遣）	運転技士兼用務員（臨）	運転技士兼生活支援員（臨）	事務補助員（臨）	休日管理員	清掃員	合計
人員	1	1	1	2	1	1	4	1	1	2	1	4	4	1	2	2	1	1	3	34

注1（臨）：臨時

4 デイサービス利用状況

(1) 通所介護（定員 15 人）

- ① 契約者数（令和 8 年 3 月 31 日現在）18 人（男 7 人、女 11 人）
- ② 年齢構成 最高年齢 94 歳、最少年齢 41 歳、平均年齢 75 歳
- ③ 年間利用者延人員 1,880 人（前年度 2,619 人）
- ④ 利用日数 307 日（前年度 307 日）
- ⑤ 要介護状態

区分	生きがい	要支援	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
男	0	1	1	2	2	0	1	7
女	0	1	3	1	1	1	4	11
計	0	2	4	3	3	1	5	18

(2) 生活介護（定員 20 人）

- ① 契約者数（令和 8 年 3 月 31 日現在）48 人（男 24 人、女 24 人）
- ② 年齢構成 最高年齢 67 歳、最少年齢 19 歳、平均年齢 39.7 歳
- ③ 年間利用者延人員 5,145 人（前年度 4,585 人）
- ④ 利用日数 307 日（前年度 307 日）
- ⑤ 障害支援区分

区分	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計
男	1	2	3	8	10	24
女	1	2	3	6	12	24
計	2	4	6	14	22	48

(3) 日中一時支援事業（定員 4 人）

- ① 契約者数（令和 8 年 3 月 31 日現在）8 人（男 5 人、女 3 人）
- ② 年齢構成 最高年齢 63 歳、最少年齢 19 歳、平均年齢 34 歳
- ③ 年間利用者延人員 27 人（前年度 52 人）
- ④ 利用日数 26 日（前年度 43 日）

(4) サービス別利用者延人員

サービス内容	介護予防	地域密着型 通所介護	生活介護	日中一時
入浴	50	1,644	4,033	20
給食	88	1,746	4,781	27
生活指導	88	1,792	5,145	27
日常動作訓練	88	1,792	5,145	27
機能訓練	88	1,704	3,540	16
養護	88	1,792	5,145	27
健康チェック	88	1,792	5,145	27
健康指導	0	0	0	0
更生相談	0	0	0	0
社会適応訓練	0	0	0	0
創作的活動	8	149	332	1
送迎	88	1,751	6,532	27
計	674 (1,367)	14,250 (19,384)	39,798 (35,362)	199 (311)

（ ）内は前年度延べ人数

(5) 専門的指導・訓練

相 談 ・ 訓 練 名	回数	延人員	前年度
① 理学療法訓練（集団） 講師 理学療法士	3 回	48 人	(69 人)
② 理学療法訓練（個別・加算対象）生活介護	233 回	2,180 人	(2,273 人)
③ 理学療法訓練（個別・加算対象）介護保険	154 回	897 人	(1,408 人)
計	390 回	3,125 人	(3,750 人)

(6) 野外歩行訓練（個別買い物ドライブ・産直ドライブ・紅葉ドライブ）

市内散策等による野外歩行訓練を実施した。

44 回 延 126 人（前年度 25 回 延べ 42 人）

(7) 主な行事

月別	行 事	月別	行 事
4 月	お花見会 利用者懇談会 身体測定	10 月	紅葉ドライブ 身体測定
5 月	春の運動会	11 月	施設交流会
6 月	七夕飾りづくり	12 月	ゆず湯 クリスマス忘年会
7 月	七夕会 ひのき風呂	1 月	小正月行事 利用者懇談会 二十歳を祝う会
8 月	作品づくり	2 月	節分活動 おひな様作り
9 月	作品展示会 産直ドライブ	3 月	お楽しみ活動

※ 4 月～12 月 個別買い物ドライブ

※ 定例行事 選択行事 移動販売 喫茶ほほえみ

5 地域福祉活動事業

(1) 幼児・児童健全育成等事業

施設交流会 11 月 12 日（水）手代森保育園さくら組とデイサービス利用者との交流会を実施した。

(2) 相談事業

生活全般にかかわる一般相談について職員が相談にあたったほか、専門相談員の協力を得て補聴器相談会等を実施した。

12 回 延 105 人（前年度 12 回 延 96 人）

(3) サークル活動等への場の提供

趣味、創作活動サークル等への場の提供を行った。 487 件 4,133 人
前年度 569 件 4,313 人

6 施設見学等

14 件 36 人（前年度 11 件、31 人）

7 実習生の受け入れ

延 18 人 延日数 9 日（前年度 延 20 人 10 日）